

【様式 1-1】

三朝町道路橋梁長寿命化修繕計画

(第 1 回改定)

平成 29 年 3 月
三朝町建設水道課

目 次

1. 長寿命化修繕計画の目的	1
1) 背景	1
2) 目的	1
2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁	2
3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針	3
1) これまでの取組みの成果と検証	3
(1)長寿命化修繕計画の取組み	3
(2)定期点検の取組み	3
(3)橋梁修繕の取組み	3
2) 健全性の把握の基本的な方針	4
3) 実物仕分け調書	4
4) 日常的な維持管理に関する基本的な方針	4
4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針	6
1) 橋梁の長寿命化フロー	6
2) 橋梁の長寿命化手順	7
5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期	7
6. 長寿命化修繕計画による効果	8
7. 計画策定担当部署	8
1) 計画策定担当部署	8

1. 長寿命化修繕計画の目的

1) 背景

本町が管理する橋長 2m 以上の道路橋は現在 122 橋ある。これらのうち、架設時期が不明である橋梁を除く 52 橋について橋齢を確認すると、橋梁の寿命とされている架設後 50 年を経過した橋梁は 12 橋であるが、今後 20 年の間にはそれら以外に 29 橋が架設後 50 年を迎えることになる(図 1)。さらには、架設時期が不明である 70 橋梁も大半が今後 20 年間に架設後 50 年を迎えると想定される。これらの高齢化する橋梁を従来の架替えないし対症的な修繕で対応すると多大な費用が集中的に必要になり、今後予想される厳しい財政状況のなかでの実現は極めて困難である。それは安全・安心な社会資本の提供が出来なくなることでもある。

このような背景から、橋梁の劣化が顕在化する前の予防的な修繕により橋梁の寿命を長らえるための管理を行い、橋梁の架替え更新を含む維持経費を抑える“コスト縮減”を目指す必要がある。

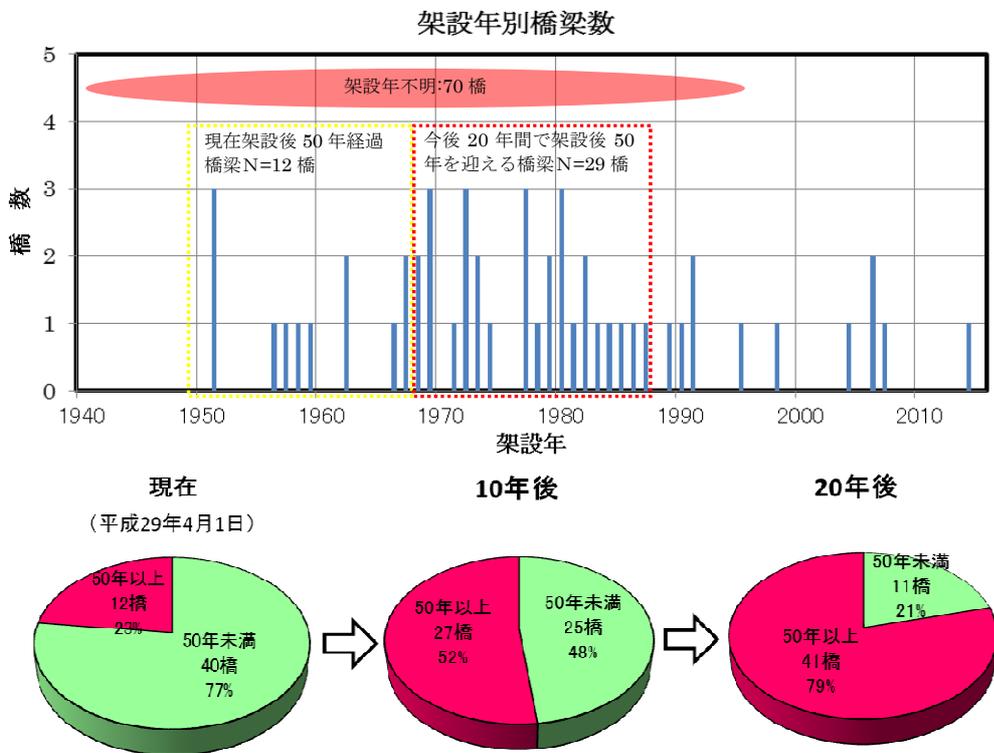


図 1 架設年別橋梁数・高齢化橋梁(架設後 50 年経過)推移状況

2) 目的

本町では、これまで道路橋梁の安全性・信頼性を維持・確保するため、事後的な対応であった従前の対症療法型から計画的な対応である予防保全型に転換し、橋梁の長寿命化、トータルの維持管理コストの縮減を図り、同時に維持管理コストの年度的集中を避け、予算の平準化・将来的計画化を図ることに取り組んできた。

計画策定から 8 年が経過し、この間に近接目視点検が原則化されたこと、前回では対象外としていた 2m 以上 15m 未満の橋梁も計画対象になったことなどから、橋梁の修繕実績等を踏まえた修繕計画の見直しを行い、より安全・安心な道路橋梁の維持管理を目指す。

2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

当該計画は、本町が管理する橋長 2m以上の橋梁 122 橋(平成 29 年 4 月 1 日現在)のうち、道路橋定期点検要領(国土交通省道路局 平成 26 年 6 月)に基づく定期点検が完了している 71 橋を対象とする。

なお、道路橋定期点検要領に基づく定期点検が未実施である 51 橋については、平成 29 年度に点検を実施し、長寿命化修繕計画の対象橋梁に追加して計画を改定する予定である。

表 1 には「長寿命化修繕計画の対象橋梁」を、図 2 には架設年別の桁種分布を示す。

表 1 長寿命化修繕計画の対象橋梁

	平成 28 年度	(平成 29 年度)
全管理橋梁数	122	(122)
うち計画の対象橋梁数	71	(122)
うちこれまでの計画策定橋梁数	38	(71)
うちH21 年度計画策定橋梁数	38	(38)

当該計画の長寿命化修繕計画の対象：
本町が管理する橋長が 2m以上の橋梁 122 橋うち定期点検が完了している 71 橋

() 値は、平成 29 年度の修繕計画の対象橋梁数である

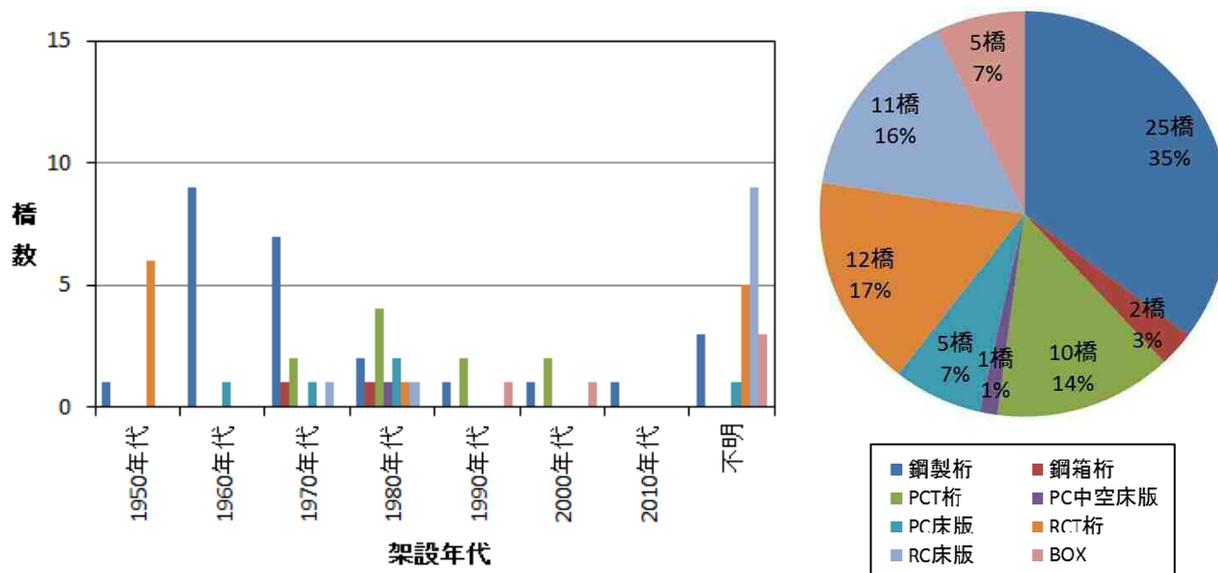


図 2 架設年別桁種分布・全体比率

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

1) これまでの取組みの成果と検証

本町では、以下(1)～(3)の通り「橋梁長寿命化修繕計画」を策定し、道路橋梁の適正な維持管理に取り組んでおり、これまでの運用過程で特に不都合な点は生じていない。

しかしながら、当該計画では、点検・診断者の増加による評価のバラツキ予防として、長寿命化フローに、専門的知識と経験を有する技術者による同一視点での評価過程(実物仕分け)を取り込むものとする。(「実物仕分け」については P4 参照)

(1)長寿命化修繕計画の取組み

本町では、「道路橋梁長寿命化修繕計画」を策定し、道路橋梁の適切な維持管理に取り組んでいる。これまでの経緯を表 2 に示す。

表 2 これまでの修繕計画の取組みの経緯

年次	取組み内容・経緯	備考
H20 年度 (2008 年)	三朝町橋梁長寿命化修繕計画策定	対象橋梁：38 橋 (15m 以上の橋梁)
H28 年度 (2016 年)	三朝町橋梁長寿命化修繕計画策定 (第 1 回改定計画)	対象橋梁：71 橋 (15m 以上全橋および 2m 以上の橋梁)

(2)定期点検の取組み

本町では、「道路橋定期点検要領」に基づき、5 年に 1 回を基本として、定期点検を実施する。これまでの経緯を表 3 に示す。

表 3 これまでの定期点検の取組みの経緯

年次	取組み内容
H20 年度 (2008 年)	橋長 15m 以上の橋梁を対象とした定期点検の実施 対象橋梁数：38 橋
H28 年度 (2016 年)	橋長 2m 以上の橋梁を対象とした定期点検の実施 対象橋梁数：71 橋

(3)橋梁修繕の取組み

本町では、「道路橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、橋梁の修繕に取り組んでいる。これまでの経緯を表 4 に示す。

表 4 これまでの橋梁修繕の取組みの経緯

	修繕橋梁数 (橋)		修繕費用 (千円)		設計費 (千円)	合計 (千円)
	計 画	実 績	計 画	実 績	実 績	実 績
H21 年度	1	0	19,950	0	0	0
H22 年度	1	2	10,150	29,058	7,875	36,933
H23 年度	1	1	13,560	9,807	7,073	16,880
H24 年度	1	1	7,490	3,419	3,106	6,525
H25 年度	1	1	21,900	19,852	4,112	23,964
H26 年度	1	1	14,510	22,502	4,018	26,520
H27 年度	1	1	17,940	25,152	3,690	28,842
計	7	7	105,500	109,790	29,874	139,664

赤字：実績最大値

2) 健全性の把握の基本的な方針

健全性の把握は、橋梁の架設年度や立地条件を十分に考慮し、以下の手順で実施する。

- ① 全管理橋梁のうち長寿命化修繕計画の対象橋梁について、5年ごとに道路橋定期点検要領（国土交通省道路局 平成26年6月）に基づき、近接目視で「定期点検」を行う。（当該計画対象橋梁の定期点検結果は、図3のとおり。）
- ② 定期点検結果をとりまとめ、全橋梁について部材ごとの重要度を考慮した健全性評価を点数化する。それを基に処置の優先順位が高いと想定する橋梁のリストアップを行う。（これを「書類仕分け」とする。）
- ③ 書類仕分けの評価点が高い橋梁、下部工洗掘等特定の変状評価が悪い橋梁について、橋梁の診断に対する専門的知識と経験を有する技術者*が同一視点で『橋梁の健全性』および『社会への影響』という観点から、定期点検調書および現地状況の確認により総合的な評価を行う。（これを「実物仕分け」とする。）

将来的には、本町の実情にマッチする定期点検となるように、独自の定期点検マニュアル策定も視野に入れて点検，仕分けを運用する。

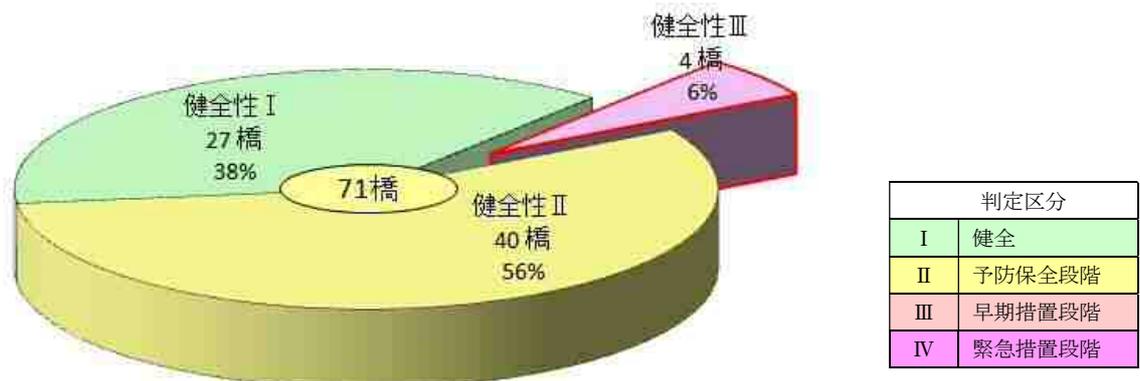


図3 定期点検による健全度評価の結果

3) 実物仕分け調書

実物仕分けは、専門的知識と経験を有する技術者*が構造的な評価と客観的な評価(交差物件，交通量，道路種別，代替路の有無および架設年などの評価)をあわせて評価するものとし、図4の調書を用いる。

※専門的知識と経験を有する技術者…橋梁の維持管理に関する専門的な知識と経験を有する技術士

4) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

橋梁を良好な状態に保つため、地元からの情報収集を心がけて日常的な維持管理としてのパトロール，清掃などを実施するほか、台風，豪雨，地震等による自然災害や、事故等の人為災害が発生した場合など必要が生じたときは緊急点検を行う。

橋梁名: ○○橋	橋梁形式: RC橋
----------	-----------

実物仕分け調書(1)

評価項目	要素		A(0点)	B(10点)	C(20点)	D(30点)	仕分者	○○○○		
	要素	変状	安全性に問題なし	安全性に影響する可能性が有る	安全性に影響する可能性が高く対策が必要である。	安全性に影響する可能性が高く早期の対応が必要である。		重み係数	100点~200点	小計
									緊急対応	
上部工	床版	ひびわれ	○	-	-	-	×5	200点	0	
		剥離・鉄筋露出								
		漏水・遊離石灰・錆汁								
	コンクリート主桁	ひびわれ	-	○	-	-	×5	200点	50	
		剥離・鉄筋露出								
		漏水・遊離石灰・錆汁								
鋼主桁	腐食	/	/	/	/	×5	200点	-		
	ゆるみ・脱落									
	防食機能の劣化									
下部工	橋台	ひびわれ	○	-	-	-	×3	150点	0	
		剥離・鉄筋露出								
		漏水・遊離石灰・錆汁								
	橋脚	ひびわれ	/	/	/	/	×4	150点	-	
		剥離・鉄筋露出								
		漏水・遊離石灰・錆汁								
基礎	沈下・移動・傾斜	○	-	-	-	×5	200点	0		
	洗掘									
	腐食									
支承部	支承本体	ゆるみ・脱落	-	○	-	-	×3	150点	30	
		防食機能の劣化								
		沈下・移動・傾斜								
		腐食								
路上部等	舗装	路面の凹凸	-	○	-	-	×1	100点	10	
		舗装の異常								
その他橋梁構造の安全性から緊急対応の必要性があるもの(横桁・縦桁・伸縮装置・高欄等)								※ 状況により50点~100点	50点~100点	0
								合計	90	

仕分け結果

・主桁では中性化によるうき、鉄筋露出が観られる。部分的であるため緊急性はないが、主鉄筋の腐食が疑われるため予防的な対策が望ましい。
 ・鋼製支承は腐食による断面欠損が観られるが、荷重支持機能を有していると判断する。現時点での予防的な対策が望ましい。
 以上より、予防保全対策が望ましい段階である。(健全性Ⅱ)

橋梁名: ○○橋	橋梁形式: RC橋
----------	-----------

実物仕分け調書(2)

評価項目	配点			点数	説明
橋梁の構造による評価					
架設後経過年次	供用年数			58	架設後の経過年数によって今後の劣化速度が異なるため点数化し分類する
径間数	3径間以上	2径間以下		0	橋梁規模や構造形式により優先度が異なるため、ここでは径間数を点数化する
	25	0			
社会への影響の評価					
道路種別	1級	2級	その他	0	路線の重要度により影響が変わるため指標として点数化する
	20	10	0		
交差条件	鉄道・道路		河川	0	第三者に影響するため指標として点数化する
	50		0		
交通量	多い	少ない	ほとんどない	0	利用者数により影響が変わるため指標として点数化する 多い: 主要道および橋梁の先に5軒を超える民家, 少ない: 橋梁の先に5軒以下の民家がある場合 ほとんどない: 橋梁の先に農地, 山林のみ。
	50	25	0		
代替路の有無	無		有	0	集落等へのアクセスの可否により影響が変わるため指標として点数化する
	50		0		
小計				58	

実物仕分け調書(1)	90
実物仕分け調書(2)	58
合計点	148

※1: 架設年時が分からない橋梁(不明50点)
 ※2: ※1が確定していない場合、暫定の合計点

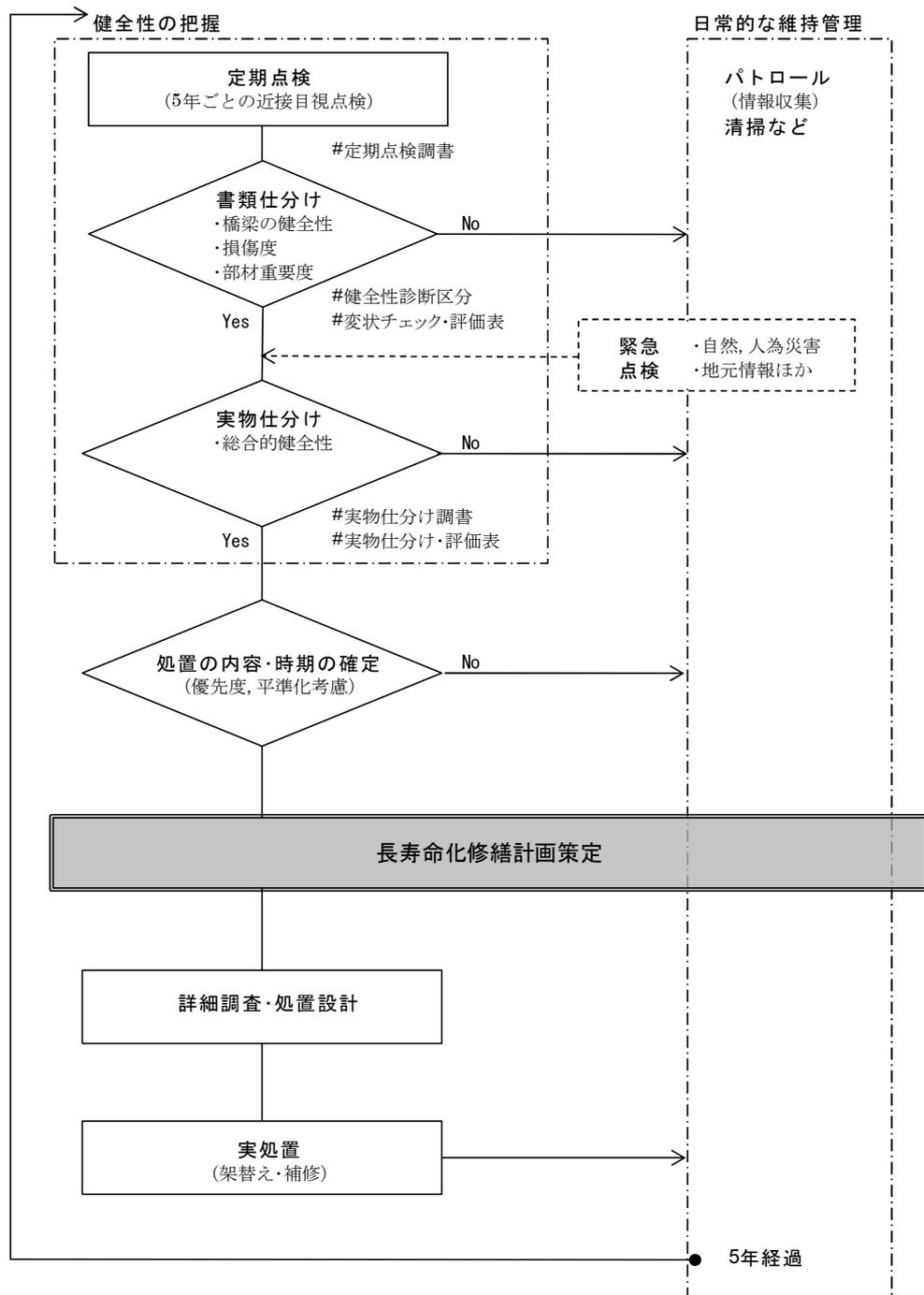
図4 実物仕分け調書

4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

1) 橋梁の長寿命化フロー

健全性の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針をもとに、的確な時期に必要な十分な補修（橋梁の劣化が顕在化する前の計画的、予防的処置）を行うことで、トータルの維持管理コストの縮減が可能になるような橋梁の長寿命化を目指す。

図5に維持管理フロー図を示す。



※ 「実物仕分け」による処置の内容は以後10年程度を見通して行う。

図5 維持管理フロー図

2) 橋梁の長寿命化手順

- (1) 橋梁の健全性評価を念頭に置き、「実物仕分け」による構造的な評価と客観的な評価をもとに、処置の優先順位を概定する。
- (2) 優先順位の高い橋梁について、修繕工法の選定、修繕費および詳細調査設計費の概算を行う。
- (3) これらの処置が時期的に集中する場合は、優先順位と予算的な面とを考慮して実施時期を定める。
- (4) 以上をもって「長寿命化修繕計画」を作成し、これに基づき必要十分な処置を行う「維持管理」を実施していく。

「長寿命化修繕計画」は、計画策定後に公表する。

5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期

各橋梁の概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期については、「様式 1-2」によるものとする。

なお、補修時期の決定は、優先順位に従い、これまでの事業実績を考慮して年間 1~2 橋として最大事業費を上回らないように計画する。

このとき、可能な限り事業費の平準化を目指す。(図 6 参照)

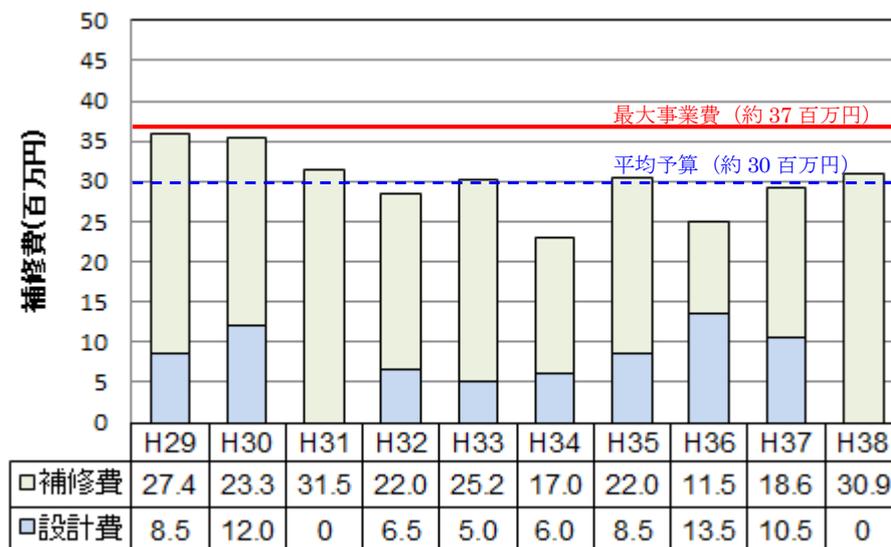


図 6 事業費の平準化

6. 長寿命化修繕計画による効果

長寿命化を意図し、予防型補修を取り入れた「維持管理」の実施がなされる橋梁は、延命効果が見込まれ、「維持管理」における長期的な補修費の削減が期待できる。その効果は従来の対症療法型修繕の場合と比較すれば、約 3～20%の削減が見込まれる。なお、図 7 は過去の事例、補修調査・実施設計による上部工補修費および一般的上部工架設費などから想定した例である。

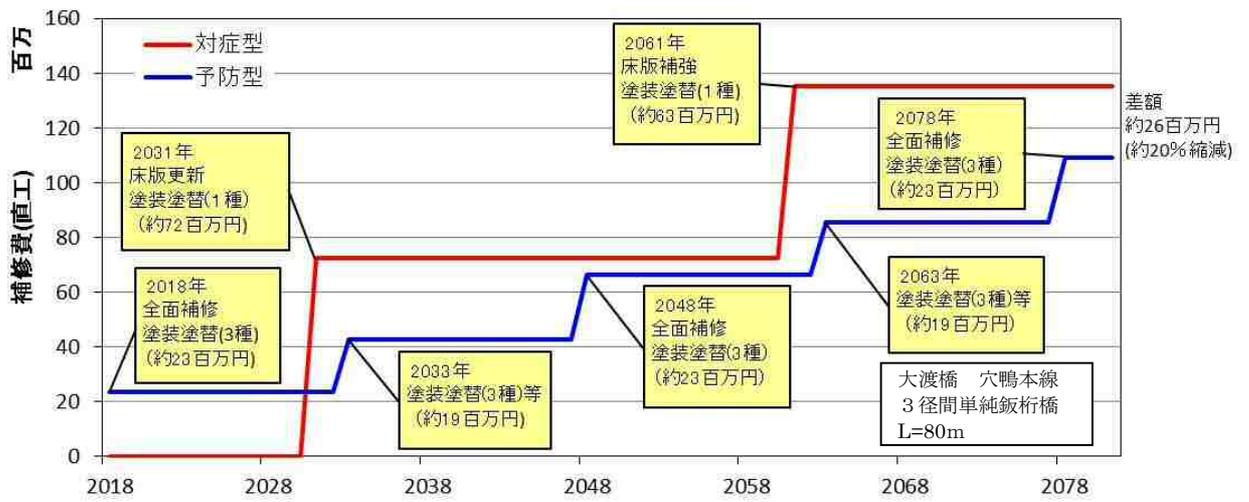


図 7 補修調査・設計に基づく補修費、架設費推定例

7. 計画策定担当部署

1) 計画策定担当部署

三朝町建設水道課 TEL 0858-43-3502

5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期

凡例： ←調査設計 → 修繕工事を実施すべき期間を示す。

橋梁名	道路種別	路線名	橋長(m)	架設年度	供用年数	最新点検年次	対策の内容・時期													
							H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38				
西小学校橋	その他	西小学校線	3.0	不明	—	—	定期点検						定期点検							
川端2号橋	2級	川端線	2.5	不明	—	—	定期点検						定期点検							
寺前橋	その他	寺前線	2.3	不明	—	—	定期点検						定期点検							
寺前支線橋	その他	寺前支線	2.0	不明	—	—	定期点検						定期点検							
粟谷1号橋	1級	粟谷線	8.5	不明	—	2016							定期点検							定期点検
粟谷2号橋	1級	粟谷線	7.3	不明	—	2016							定期点検							定期点検
山田中央第1号橋	1級	山田中央線	4.5	不明	—	—	定期点検						定期点検							
山田中央第2号橋	1級	山田中央線	2.7	不明	—	—	定期点検						定期点検							
山田上荘橋	その他	山田上荘線	2.0	不明	—	—	定期点検						定期点検							
山田下荘橋	その他	山田下荘線	2.4	不明	—	—	定期点検						定期点検							
宮ノ谷3号橋	その他	宮ノ谷線	3.2	不明	—	—	定期点検						定期点検							
宮ノ谷4号橋	その他	宮ノ谷線	3.3	不明	—	—	定期点検						定期点検							
市ヶ坪橋	その他	市ヶ坪線	3.3	不明	—	—	定期点検						定期点検							
下河原荒尾1号橋	その他	下河原荒尾線	3.5	不明	—	—	定期点検						定期点検							
下河原荒尾2号橋	その他	下河原荒尾線	5.9	不明	—	2016							定期点検							定期点検
株湯橋	その他	三朝砂原線	4.7	1971	44	—	定期点検						定期点検							
美谷橋	その他	株湯線	4.7	不明	—	—	定期点検						定期点検							
山根橋	2級	三朝横手線	4.0	不明	—	—	定期点検						定期点検							
高橋1号橋	その他	高橋本線	5.7	不明	—	2016							定期点検							定期点検
東小鹿中央橋	1級	東小鹿中央線	8.6	不明	—	2016							定期点検							定期点検
東小鹿上庄橋	その他	東小鹿上庄線	6.0	不明	—	2016							定期点検							定期点検
城居谷橋	1級	中津俵原線	7.7	1972	43	2016							定期点検						調査設計	全面修繕
中津俵原橋	1級	中津俵原線	2.0	不明	—	—	定期点検						定期点検							
神倉中津第一号橋	その他	神倉線	5.0	不明	—	—	定期点検						定期点検							
西小鹿橋	その他	タカガマ線	10.5	1964	51	2016							定期点検							定期点検
森脇橋	その他	下西谷森脇線	45.0	1982	33	2016							定期点検							定期点検
大渡橋	1級	穴鴨本線	80.0	1981	34	2016			調査設計		全面修繕		定期点検							定期点検
穴鴨橋	1級	穴鴨本線	29.4	1951	64	2016							定期点検					調査設計	全面修繕	定期点検
下畑2号橋	その他	下畑線	17.5	1973	42	2016							定期点検							定期点検
向渡橋	その他	向田線	18.0	不明	—	2016							定期点検			調査設計	全面修繕			定期点検
下庄橋	その他	久原本線	22.2	1974	41	2016							定期点検							定期点検
恩地橋	2級	恩地中央線	82.7	1973	42	2016							定期点検							定期点検
久鳥橋	2級	赤松本泉線	73.2	1698	317	2016							定期点検							定期点検
赤松橋	その他	赤松線	62.1	1972	43	2016			全面修繕				定期点検							定期点検
湯谷橋	2級	湯谷本線	69.2	1995	20	2016							定期点検							定期点検
吉尾橋	1級	吉尾本線	22.1	1980	35	2016							定期点検							定期点検
下谷橋	2級	下谷本線	28.0	2004	11	2016							定期点検							定期点検
大島橋	その他	大島線	68.4	1967	48	2016						調査設計	全面修繕							定期点検
虹鱒橋	その他	虹鱒線	21.0	1982	33	2016							定期点検							定期点検
波伯山橋	2級	余戸波伯山線	32.0	1967	48	2016							調査設計	全面修繕						定期点検
恋谷橋	1級	恋谷線	69.5	1987	28	2016							定期点検							定期点検
横手橋	1級	粟谷線	93.0	1972	43	2016							定期点検							定期点検
美の田橋	1級	大瀬本泉線	33.4	1984	31	2016							定期点検							定期点検
新美の田橋	その他	三朝中学校線	50.0	1979	36	2016							定期点検		調査設計	全面修繕				定期点検
川坂橋	その他	川坂線	34.0	1969	46	2016							定期点検							定期点検
大山橋	その他	大山線	15.6	1986	29	2016							定期点検							定期点検
木地山橋	その他	木地山線	24.2	1957	58	2016							定期点検							定期点検
新三朝橋	その他	山田横手線	72.6	1968	47	2016							定期点検							定期点検
新三朝橋歩道橋	その他	山田横手線	74.5	2014	1	2016							定期点検							定期点検
坪谷橋	その他	宝太神線	16.7	1980	35	2016							定期点検							定期点検
わかとり大橋	1級	大瀬本泉線	78.0	1983	32	2016							定期点検							定期点検
福本橋	その他	福本本線	22.0	1966	49	2016							定期点検							定期点検
戎橋	その他	実光神倉線	16.4	1977	38	2016							定期点検							定期点検
鉛山橋	その他	実光神倉線	17.0	1980	35	2016							定期点検							定期点検

5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期

凡例：  調査設計  修繕工事を実施すべき期間を示す。

橋梁名	道路種別	路線名	橋長(m)	架設年度	供用年数	最新点検年次	対策の内容・時期												
							H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38			
良ノ谷橋	その他	実光神倉線	14.5	1979	36	2016						定期点検							定期点検
小鹿橋	その他	実光神倉線	61.0	1978	37	2016													定期点検
1号中古屋橋	その他	中古屋小坂線	20.2	1958	57	2016						定期点検							定期点検
2号中古屋橋	その他	中古屋小坂線	20.2	1956	59	2016						定期点検							定期点検
粟谷橋	2級	三朝横手線	32.0	1990	25	2016						定期点検							定期点検
安水橋	その他	穴鴨曹源寺線	68.0	1977	38	2016						定期点検							定期点検
向滝橋	その他	下古屋線	14.6	1951	64	2016						定期点検							定期点検
かじか橋	その他	市ヶ坪線	65.0	1998	17	2016						定期点検							定期点検
吉原橋	その他	吉原線	28.0	1962	53	2016						定期点検							定期点検
門前橋	その他	門前線	50.0	1989	26	2016						定期点検							定期点検
笏賀橋	その他	笏賀本線	16.0	2006	9	2016						定期点検							定期点検
今泉若宮橋	2級	今泉若宮線	4.1	不明	—	—	定期点検						定期点検						
牧1号橋	その他	牧本線	5.0	不明	—	—	定期点検						定期点検						
牧2号橋	その他	牧本線	3.5	不明	—	—	定期点検						定期点検						
牧3号橋	その他	牧本線	2.5	不明	—	—	定期点検						定期点検						
赤松本泉1号橋	2級	赤松本泉線	2.9	不明	—	—	定期点検						定期点検						
赤松本泉2号橋	2級	赤松本泉線	2.5	不明	—	—	定期点検						定期点検						
赤松本泉3号橋	2級	赤松本泉線	6.0	不明	—	2016						定期点検							定期点検
大柿1号橋	その他	大柿本線	2.0	不明	—	—	定期点検						定期点検						
助谷中央橋	その他	助谷中央線	3.8	不明	—	—	定期点検						定期点検						
大島2号橋	その他	大島線	6.3	不明	—	2016						定期点検							定期点検
大島1号橋	その他	大島線	5.0	不明	—	—	定期点検						定期点検						
絵図見橋	その他	鎌田本線	2.9	不明	—	—	定期点検						定期点検						
吉尾4号橋	その他	吉尾清水坂線	4.2	不明	—	—	定期点検						定期点検						
下谷1号橋	2級	下谷本線	13.8	2006	9	2016						定期点検							定期点検
下谷2号橋	2級	下谷本線	6.2	不明	—	2016						定期点検							定期点検
下谷3号橋	2級	下谷本線	8.6	不明	—	2016						定期点検							定期点検
福田1号橋	その他	福田中央線	3.7	不明	—	—	定期点検						定期点検						
笏賀2号橋	その他	笏賀本線	10.8	不明	—	2016						定期点検							定期点検
笏賀第3号橋	その他	本笏賀線	8.2	不明	—	2016						定期点検							定期点検
渡り上り橋	その他	花倉線	5.0	不明	—	—	定期点検						定期点検						
地藏橋1	2級	福吉線	12.5	不明	—	2016						定期点検							定期点検
地藏橋2	2級	福吉線	12.5	不明	—	2016						定期点検							
寄合田橋	その他	柿谷線	5.5	不明	—	—	定期点検						定期点検						
保木橋	その他	柿谷鉛山線	5.5	不明	—	—	定期点検						定期点検						
鉛山2号橋	その他	柿谷鉛山線	8.1	不明	—	2016						定期点検							定期点検
鉛山3号橋	その他	柿谷鉛山線	4.0	不明	—	—	定期点検						定期点検						
鉛山4号橋	その他	柿谷鉛山線	8.5	1980	35	2016						定期点検							定期点検
牧中央橋	その他	牧中央線	2.1	不明	—	—	定期点検						定期点検						
本泉森1号橋	その他	本泉森線	3.6	1964	51	—	定期点検						定期点検						
本泉橋	その他	本泉2号線	7.5	不明	—	2016						定期点検							定期点検
穴鴨1号橋	その他	穴鴨中央線	2.8	不明	—	—	定期点検						定期点検						
穴鴨2号橋	その他	穴鴨中央線	4.6	不明	—	—	定期点検						定期点検						
下畑橋	その他	下畑線	9.5	不明	—	2016						定期点検							定期点検
下畑1号橋	その他	下畑線	3.5	不明	—	—	定期点検						定期点検						
新山橋	その他	新山線	4.2	不明	—	—	定期点検						定期点検						
亀岩橋	その他	若杉線	13.5	不明	—	2016						定期点検							定期点検
若杉橋	その他	若杉線	4.0	不明	—	—	定期点検						定期点検						
上村橋	その他	田代上村線	3.3	不明	—	—	定期点検						定期点検						
加谷橋	その他	加谷中央線	7.2	不明	—	2016						定期点検							定期点検
第1栗祖橋	その他	栗祖本線	7.9	不明	—	2016												定期点検	
第2栗祖橋	その他	栗祖本線	8.1	不明	—	2016							定期点検						定期点検
大澤橋	その他	木地山大淵線	13.4	不明	—	2016													
福本1号橋	その他	福本本線	3.0	不明	—	—	定期点検						定期点検						

